



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2011～2012 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「人として生きる」

◆会長 平林 英一 ◆幹事 新宮 一郎 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 高木 純

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 907回	51名	51名	37名	—	72.55%
前々回 905回	51名	51名	41名	3名	86.27%

<忘年例会>

日時：平成 23 年 12 月 22 日（木）18：30～

会場：銀水庵

<点 鐘> 会長 平林 英一

<会長の時間> 会長 平林 英一

今日は忘年例会です。親睦活動委員会の皆さんには、大変お世話をかけます。よろしくお祈りします。
会長になってから、皆さんに助けられ“あつ”という間の半年でした。



今年度今までに、4 人もの新会員が高山中央ロータリークラブに入会して頂き、その度に、剣田ガバナ補佐による真剣な中身のあ

るオリエンテーションをして頂きました。ありがとうございました。本当に感謝申し上げます。皆さんの応援には感謝感謝であります。言葉では言い表せないほどうれしく思います。

今日は、大いに飲んで語らい懇親を深めてください。そしてこれからも、高山中央ロータリークラブが、楽しく意義あるクラブとして成長していきたいと思ひます。来る 2012 年も、皆さんのクラブへの協力よろしくお祈りします。

<幹事報告> 幹事 新宮 一郎

- ◎ 国際ロータリー第 2630 地区ガバナ事務所より
- ・ 国際青少年交換 2012-2013 夏季派遣学生再募集のご案内

募集要項

- ◇ 派遣先 フランス・ニュージーランド
- ◇ 派遣次期 2012 年 8 月より 1 年間
- ◇ 資格 クラブが推薦する中学 3 年から高校 2 年
- ◇ 応募締切 2012 年 1 月 6 日
- ◇ 選考日 2012 年 1 月 15 日



<親睦活動委員長挨拶>

委員長 坂ノ上 健一

会員の皆様一年間ご苦労様でした。

今年一年を振り返ってみますと、色々な出来事がありました。

特に大きな出来事としては、3 月 11 日の「東日本大震災」今まで体験をしたことの無い経済的な大打撃、皆様の会社も今までにない経験をされた事と思ひます。

そんな中、我が高山中央ロータリークラブは飛躍的に伸びた一年だったのでないでしょうか。

新しく会員が 4 名増え、クラブの雰囲気も益々活気あるものとなり 2011 年の締めくくりが盛大な忘年例会となりま



した。

2012 年は益々繁栄できる高山中央ロータリーであることを祈念して挨拶に代えさせていただきます。

<乾 杯>

濃飛分区ガバナー補佐 劔田 廣喜 様



<めでた>

直前会長 清水 幸平



<100万人のキャンドルナイト主旨説明>

環境保全委員会

「100万人のキャンドルナイト」とは、毎年、夏至、冬至（本日）の夜8：00～10：00の2時間、みんなでいっせいに電気を消して、キャンドルのあかりだけで過ごしましょうという運動です。

電気を消してキャンドルのあかりの下で、ある人は省エネ、ある人は平和を、ある人は愛する人を、ある人は世界のいろいろな場所で生きる人々を思いながら、スローな夜を過ごすことでしょう。

プラグを抜いて、電気を消すということは、新しい世界の窓をひらくこと。それは、人間の自由と可能性を思いおこすことであり、文明のもっと大きな可能性を発見するプロセスなのではないかと思えます。

今年、東日本大震災がおこり、たいへん大きな傷跡を残しました。今、私たちは試されています。私たちがそれぞれに抱える問題を解決するためにも、この機会に一度、電気を消して考えてみてはいかがでしょうか。

環境保全委員会では、この企画にあわせて冬至である本日（12月22日）に例会日を変更して頂き、「忘年例会」の中で皆さんと一緒にこの運動に参加して頂きたいと思えます。

キャンドルは「ひだホテル」から、無料でいただきました。



<会場の照明を消して過ごしました>

<舟山太鼓保存会の皆様による演奏>



<新会員による和太鼓演奏>

都竹 太志・堀口 裕之・黒地 重雄・周 信夫



<歓 談>



<中締め挨拶>

次期会長 足立 常孝

